資料３

佐久穂町学校跡地施設等利用検討委員会

Aグループ（佐久穂らしさ）
平成24年11月5日

2. 目標達成の為の戦略案

佐久穂町戦略（案）

1. 目標	「朝8時の太陽のように若若しく輝く町」 （量的目標）：佐久穂町の20年後を展望し、人口増加を目指す。その結果、少なくとも人口減少や高齢化のペースが抑制される事で集落やコミュニティーを維持する。 （質的目標）：歴史的な「健康管理事業」に加え、「アウトドア活動（スポーツ、農を含むライフ）」等の事業が盛んで、若者や子育て世代等すべての人がイキイキと暮らし国内外から注目される町になる。
2. 方法	町の強みや魅力を活かし、人口増加につながる「子育て世代」や比較的若年の生産年齢人口の流入促進、及び流出防止に注力する。 その為に、住みやすい町づくりを推進し、企業や事業の誘致や起業を促進する。特に、戦略関連ビジネスとの連携や、「ICT（情報通信技術）」や「宅配」を活用しエンドユーザーと直接取引を行う「スモールビジネス」の流入・起業を重視する。（戦略対象ビジネス分野は下欄）
3. 対象	主要な対象は、「健康管理事業」、「アウトドア活動（スポーツ、農を含むライフ」、「スポーツ医療、フィットネス、コンディショニング」、「農林漁業、加工食品の生産や販売」、「観光」といった町の強みや魅力を活かせる事業領域。

2. 目標達成の為の戦略案

佐久穂町戦略（案）

4. 背景	【町の強み】	イ.世界に誇る「健康管理事業」 ●集団健診の歴史 ●保健師数 ●元気な高齢者 ●医療施設の集中
		ロ.「アウトドア活動」の事業基盤 ●八ヶ岳登山 ●スキー ●キャンプ場 ●釣り ●ツールド八ヶ岳 ●ゴルフ ●ソフトボール ●体育施設 ●自然観察 ●農林業体験、他
		ハ.エンドユーザーと直接取引する「スモールビジネス」実例 ●有機野菜栽培 （多い） ●リンゴやプルーン等の果樹栽培（多い） ●養魚場 ●菓子製造 ●他
	【町の魅力】	●森林、湧水、日照 ●地盤の固さ ●美しい自然 ●高原環境 ●標高差 ●農業の人的裾野 ●地域文化 ●住民の人柄 ●高速アクセス ●光ファイバー ●小中一貫教育、保育園 （Not yet）

2. 目標達成の為の戦略案

佐久穂町戦略（案）

4. 背景	【理由】 主要な戦略要素の採用理由	「アウトドア活動（スポーツ、農を含むライフ」	①「健康管理事業」との連続性 ②地理的、環境的な強み。既存インフラ。 ③人々の生活をイキイキと楽しくする。介護予防。スポーツツーリズム。スポーツ交流。
		「子育て世代」	①人口に対する長期的な効果 ②若年生産年齢人口との一貫性 ③小中一貫教育等、子育て環境の強み
		「スモールビジネス」	①実現しやすく、堅実 ②既に手に職を持ち、個性的な人々 ③高速道路アクセス、光ファイバー

2. 目標達成の為の戦略案

佐久穂町戦略（案）

4. 背景	【用語】 主要な戦略要素の用語について	アウトドア活動	ウィキペディア→アウトドア・アクティビティにはアウトドアスポーツやアウトドアライフなどが含まれる。アウトドアライフの主なレジャーには、キャンピング、ハイキング、登山、トレッキング、トレイルラン、ケイビング、カヤッキング、チュービング、釣り、海水浴、ピクニック、山菜採り等があげられる。なお、野鳥や植物といった自然観察や、森林浴などが含まれる場合も多く、さらに天体観察も含まれることがある。定義からいうと家庭菜園や農林漁業体験なども含まれる。（佐久穂町の定義としては、スポーツはインドアスポーツも含む）
		子育て世代	佐久穂定義→これから結婚をしようとする若年から、高校生の子供のいる親で構成される世代
		スモールビジネス	goo辞書→《(和)small＋business》ニューサービス（人材派遣など）、ベンチャービジネス（ソフトハウス・新テク商品など）の登場で、これまでの大企業・中堅企業・中小（零細）企業といった規模分類だけでは優劣判定ができなくなったのに対応して、優良中小、ベンチャーを合わせて呼んだもの。社・日本スモールビジネス協会→◆ 大金を集めない◆敢えて大きくしない（成長志向ではない）◆経営者(創業者)のアイディアと情熱と信念による経営◆強みに特化◆楽しんで仕事ができる◆長続きする

2. 目標達成の為の戦略案

佐久穂町戦略（案）

4. 背景

【将来認識】

佐久穂町の20～30年後

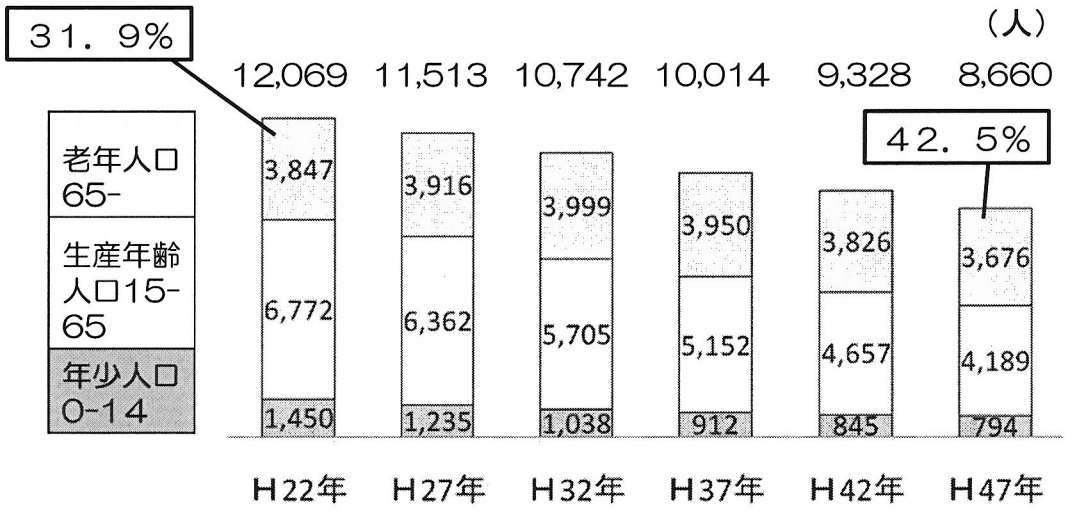
（資料：佐久穂町総合計画・基本構想編）

人口は平成22年は12,069人、4,092世帯。将来推計によると平成47年に人口8,660人と推計。 年少人口と生産年齢人口の割合が減少、少子高齢化が進む。

◆年少人口0-14
◆生産年齢人口15-65
◆老年人口65-

	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
人口	12,069	11,513	10,742	10,014	9,328	8,660
0-14	1,450	1,235	1,038	912	845	794
15-65	6,772	6,362	5,705	5,152	4,657	4,189
65-	3,847	3,916	3,999	3,950	3,826	3,676
構成比%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
0-14	12.0	10.7	9.7	9.1	9.1	9.2
15-65	56.1	55.3	53.1	51.4	49.9	48.4
65-	31.9	34	37.2	39.4	41	42.4

佐久穂町人口推計



3．作業3：目標達成の為の【主要事業】の優先順位

作業方法

□他町村の事例等から施設跡地利用との関連性がある程度予見される事業を抽出。更に同類事業は一つにまとめ「事業カテゴリー」として優先順位をつけた。

□予め想定される実際の利用案からの影響はできるだけ避け、町の目標達成の為に優先されるべき事業はどれか？の観点から4つの【主要施策】毎に属する「事業カテゴリーに」順位をつけた。

□結果導き出された全ての「事業カテゴリー」の総合順位を再度検討評価。戦略との一貫性や目標実現の為に相対的に重要と判断される事業カテゴリーは、その順位を繰り上げた。

3.　作業2：目標達成の為の【重要施策】の優先順位（案）

【重要施策】	優先順位	理由
◆教育文化	1	社会にとって、いかなる時も「教育、文化」（スポーツや娯楽も含む）が最重要。生活の質を高め、ひいては人口流入を促し産業の基盤ともなる。
◆産業振興	2	「町の目標」実現の為に「 産業振興」は現時点で優先されるべき施策。戦略との一貫性や目標実現の為必要な事業は1に優先されるべき。
◆保健医療福祉	3	「保健医療福祉」については、【町の強み】として一層磨きをかける事が必要。戦略との一貫性や目標実現の為必要な事業は1～2に優先されるべき。
◆都市基盤 生活環境 住民と行政の協働	4	「都市基盤」や「生活環境」は現時点で相対的にニーズが満たされている。但し、戦略との一貫性や目標実現の為必要な事業は1～3に優先されるべき。

3. 作業3：目標達成の為の【主要事業】の優先順位

重点施策　ー教育文化				
事業カテゴリー	優先順位	理由	主要事業	
学校教育 共育	1	教育や共育は社会にとって最重要事業。小中一貫教育は町の最重要施策。	53	学校施設の充実
			54	学校教育の充実
生涯学習 スポーツ 文化活動	2	アウトドア活動は、戦略上非常に重要。人々のイキイキとした暮らしにも資する。	48	生涯学習の推進
			51	文化芸術活動の振興
文化財	3	モノの収蔵だけでなく活用が重要。更に文化財として、建築物も保存、活用を図るべき。	52	文化財の保存活用

3. 作業3：目標達成の為の【主要事業】の優先順位

重点施策　ー産業振興				
事業カテゴリー	優先順位	理由	主要事業	
事業誘致、起業支援	1	戦略上非常に重要な事業。大企業の誘致も望ましいが撤収リスクもあり、スモースビジネスの着実性を重視すべき	23	新産業の創出支援
			26	農業の担い手育成支援
観光、アウトドア活動情報発信	2	観光はスポットではあるが外から人を流入させる。特に、アウトドア活動は戦略上重要。人々のイキイキとした暮らしにも資する	28	都市と農村の体験型交流の推進
			32	観光基盤の整備
			33	観光情報発信とイメージアップ
特産品開発・発信 農商工連携	3	特産品は、町のブランドを伝達し、外貨を獲得する。遊休農耕地が減る等人々のイキイキとした暮らしにも資する	22	既存産業の連携と活性化
			29	特産品づくりの推進

3. 作業3：目標達成の為の【主要事業】の優先順位

重点施策　ー保健医療福祉				
事業カテゴリー	優先順位	理由	主要事業	
保育、学童保育、校外の学び	1	子育て世代の流入を促進するとする戦略上重要。単なる学童保育ではなく、学校では得られない学びの機会が重要	45	保育サービスの充実
			46	放課後児童健全育成の充実
保健、予防、医療	2	健康管理事業という歴史的な強みを磨き、更にアウトドア活動と連携し予防やイキイキとした暮らしに重要	35	地域医療体制の充実
			37	保健、予防対策の充実
高齢者、障害者福祉	3	事業の重要性は言うまでもないが、戦略からの一貫性から上記2カテゴリーの上には位置づけない	39	高齢者福祉の充実
			40	障がい者福祉の充実

3. 作業3:目標達成の為の【主要事業】の優先順位

重点施策　ー都市基盤、生活環境、住民と行政の協働				
事業カテゴリー	優先順位	理由	主要事業	
役場	1	町の拠点。耐震性等の課題は重要。役場機能が2ヵ所に分散していること現状は不便		行政サービス、役場機能
公園、広場、防災・減災	2	防災減災は行政重要事項。一次避難場所は公民館や学校だが、統合校までの距離は遠い	12	災害予防対策の推進
			19	公園、広場の整備
交流、コミュニティ	3	地域内外交流は重要だが、ソフトの重要性が高く、ハード面でのニーズはあまり高くない	61	地域の連携・交流の推進
			62	他地域と連携交流の促進
新エネルギー	4	社会的意義は高いが既に民間企業参入の段階。行政の事業としては優先度低い	9	新エネルギー事業の推進
公営住宅、宅地	5	人口減少を前に重要性は低い。教職員住宅や民間アパートの活用が先	18	公営住宅の整備

まとめー1:
目標達成の為の【重点施策】と【事業カテゴリー】の優先順位

これまでの論議から【重点施策】、【主要事業】の優先順位は概ね下表のようにまとめられる。

【重点施策】順位→

事業カテゴリー順位↓	1	2	3	4
	教育文化	産業振興	保健医療福祉	都市基盤他
1	学校教育、共育			
2	生涯学習、スポーツ文化活動	事業誘致、起業支援		
3	文化財	観光、アウトドア、情報発信	保育、学童保育、校外の学び	
4		特産品、農商工	保健、予防、医療	役場(町の拠点)
5			高齢者、障害者福祉	公園、広場、防災
6				交流、コミュニティ
7				新エネルギー
8				公営住宅、宅地

まとめ－2
目標達成の為の【重点施策】と【事業カテゴリー】の優先順位

前頁表を基に、更に戦略との一貫性や目標実現の為に相対的に重要と判断される事業カテゴリーを検討、評価し最終的な優先順位付けを行った。

	1	2	3	4
	教育文化	**産業振興**	**保健医療福祉**	**都市基盤他**
1	学校教育、共育			
2		事業誘致、起業支援		
3		観光、アウトドア、情報発信		
4	生涯学習、スポーツ文化活動		保育、学童保育	
5		特産品、農商工	保健、予防、医療	
6				役場（センターとして）
7	文化財		高齢者、障害者福祉	公園、広場、防災
8				交流、コミュニティ
他				新エネルギー 公営住宅、宅地

15

まとめ－3
目標達成の為の【事業カテゴリー】の優先順位

1	教育	学校教育、共育				
2	産業	事業誘致、起業支援				
3	産業	観光、アウトドア、情報発信				
4	教育	生涯学習、スポーツ文化活動	保健	保育、学童保育、校外の学び		
5	産業	特産品、農商工	保健	保健、予防、医療		
6	都市	役場（町の拠点）				
7	教育	文化財	保健	高齢者、障害者福祉	都市	公園、広場、防災
8	都市	交流、コミュニティ				
他	都市	新エネルギー	都市	公営住宅、宅地		

【重点施策】

教育：教育文化
産業：産業振興
保健：保健医療福祉
都市：都市基盤他

16